



# 『ノウモア沖縄戦! 命どう宝』 (II)

## 『台湾有事』? 沖縄・南西諸島を、日本列島を戦場にするな!!

敵基地攻撃能力、集団的自衛権、軍事費増大、日米軍事一体化、米国の対中国包囲網戦略、といったわが国が進めている(「国家安全保障戦略」「防衛大綱」「中期防」安保3文書の改定)安全保障の方向性・内実が具体的に現れてくるのが日米共同作戦計画=沖縄南西諸島・日本列島の戦場化です。

### Q、「日米共同作戦計画案」って何ですか?

「台湾有事」に絡んだ形で日米軍事一体化の「日米共同作戦計画」が作られていることが2021年12/24共同通信のスクープで明らかになりました。

2022年1/7 外交・防衛2プラス2の共同文書で「緊急事態に関する共同計画作業の確固とした進展を歓迎」と計画が着実に実行されていることも分かりました。

「日米共同作戦計画案」の内容についてスクープ記事を書いた石井暁さんは語りました。「計画案は特定秘密保護法の特定秘密」と。そして「米国の対中国包囲網戦略の具体化として南西諸島にミサイル基地が作られ、第一列島線が戦略の最前線になるのです。」「南西諸島の島々を数十人からの小規模に分かれた部隊の攻撃拠点にしてさまざまにちらばってミサイルで中国軍の艦船・航空機を攻撃。反撃が想定されるので攻撃したら部隊ごと別の離島へ移動する。(海兵隊の戦略EABO・遠征前方基地作戦)」「南西諸島の200の島の中から水の供給のできる有人島40島が拠点となる(ミサイル基地が作られた宮古島・石垣島も)。石垣島も宮古島も5万人ほどの住民が住んでいます。でも住民を守る計画ではないのです。」「この台湾を巡る作戦計画が可能になったのは重要影響事態・存立危機事態を認定し集団的自衛権の行使を認める安保法制が出来たから」と説明しました。

伊波氏も指摘します「台湾有事には日本が自動的に参戦してアメリカの盾になる戦争。それをやるための戦略作りです・・・同盟国に戦ってもらうという戦略に・・・その具体例として南西諸島の戦場が有る。」と。

このような計画に基づいた軍事訓練が、奄美大島で8月に行われ海兵隊と米陸軍がハイマースを打ち南西諸島の島々に展開。自衛隊の協力での戦争訓練です。

11月には日米共同軍事演習『キーン・ソード23』が日米あわせて3万6千人、艦艇役30隻、航空機270機が投入され沖縄～鹿児島島の島嶼部と近海で演習(今回はカナダ・イギリス・オーストラリアも参加)し中国を威嚇しているのです。



## Q、「台湾有事」と米国の戦略をどう見ればいいですか？

「台湾有事」を前提にした計画ですが、「台湾有事」とは「米国の対中国戦略の中から意図的につくられたものだ」(三上)、「中国の台湾侵攻を前提にした論理だがこれは日米政府とメディアによって作られた危機だ。デービットソン司令官が 2021 年“今後 6 年以内に中国が台湾を侵攻する可能性がある”と証言したが根拠はまったく説明なし」(岡田充)と台湾有事の本質が指摘されています。

一帯一路とグローバルに経済発展を求める中国がどうして戦争をすることにメリットを見出せるのだろうか。なぜか“6 年以内に台湾に侵攻”と危機を煽っているのは米国と日本。そして「防衛力を 5 年以内に抜本的に強化する」と言いだしているのです。

バイデン大統領は、

10/12 安全保障戦略を発表し中国を「国際秩序を変える意図とそれを実現する経済力・軍事力・技術力を備えた唯一の競争相手」と位置づけ同盟国との一体化を図る。

「半導体技術・製品の中国向けを制限する規制」を導入し中国の 31 の企業・団体を輸出制限の対象リストに加える。ハイテク分野での覇権を維持するために米国は日本など同盟・友好国と中国抜き半導体サプライチェーンを形成しているのです。

「台湾へ 11 億ドル(1500 億円)の武器売却承認」と動いています。



## 戦争への道・改定安保 3 文書はダメ・対話と平和外交を

以上見てきたことから安保 3 文書の改定が重大な問題を抱えていることが分かります。

沖縄南西諸島のミサイル配備、馬毛島の陸海空自衛隊&米艦載機飛行訓練(FCLP)のための基地建設、日本全土への米国の中距離ミサイル配備計画、日米共同作戦計画、経済安全保障推進法はまさに米国の対中国包囲網戦略そのものであり、この戦略に乗った形で日本の国家安全保障戦略等安保 3 文書がつくられていくのなら、単にこれまでの専守防衛・個別的自衛権といった憲法制限下の政府の防衛政策の大転換以上に、日本の国の有り様に根本的な問題を加えることとなります。

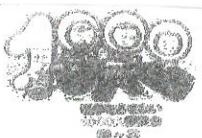
米国の“強大な軍事衛兵国”として日本が米国の盾として対中国戦略の前線に立ち矛としての役割を果していくこと(沖縄・日本列島すべてが戦場に)を市民は認めるのだろうか？

「ノーモア沖縄戦!命どう宝の会」や「平和構想提言会議」などが立ち上げられ市民の抗議行動が展開されています。

虚構の抑止論・同盟神話を暴き、台湾有事=対中国包囲網戦略の実態を明らかにし、東アジアに覇権を求めず平等互惠の非核平和地帯を作り上げていく必要があります。そのための平和外交です。日中平和友好条約の原理・原則を実現しましょう。

「平和をつくる・対話と外交」こそ人間の安全保障です。

2022 年 12 月 8 日



戦争をさせない1000人委員会・餅ヶ谷  
9条の会餅ヶ谷・この船とまれ



佐藤:444-0806  
津久井:444-5262  
藤代:445-9144